

様式2 熊野川上流部の総合的な減災に係る取組方針に関する調査 回答結果  
各機関の取組み動向を踏まえた具体的な取組内容および課題・工夫点の把握

これまでの取組み動向を踏まえ、今後、取組の推進を図る上で各機関相互に情報共有することが有効な内容(予算確保、人員確保、技術的事項・ノウハウ等)に関して、課題や工夫点等を把握させていただきます。「調査対象取組項目」に該当する内容について以下の設問に記入をお願いします。

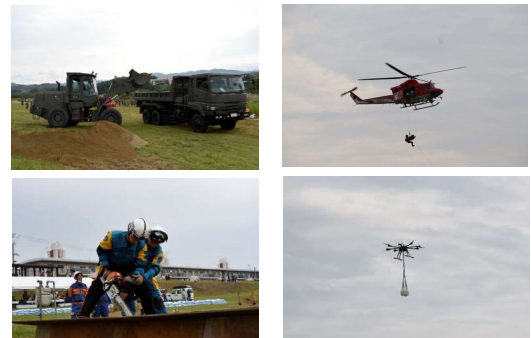
機関No	機関名	調査対象 取組No	調査対象 取組項目	関係機関が連携した実働水防訓練の実施(資材等の点検管理含む)
1	五條市④	41		

設問① 具体的な取組内容をご教示ください。  
※取組にあたり活用した補助金制度等がある場合には併せてご教示ください。

記入にあたり、参考となる図表がある場合には添付ください。

○五條市総合防災訓練 令和5年10月14日(土)  
子どもから大人まで、だれでも参加できる訓練を実施し、市民等への防災意識の啓発を図る。  
国・自衛隊・消防・警察・防災関係機関の支援の下、訓練を実施し、連携強化と職員等の災害対応能力の向上を図る。

【展示型訓練】



【体験型訓練】



【参加機関】 五條市・国・県・自衛隊・消防・警察等  
計33機関

【訓練内容】  
展示型訓練…訓練シナリオに基づく防災関係機関との連携による災害対応訓練  
(偵察訓練、道路啓開訓練等)

体験型訓練…住民参加型の「見学・体験」を通じて防災意識を促進させる訓練  
(消火器使用訓練、応急手当訓練等)

設問② 取組を進める上で難しかった点(問題点)、課題をご教示ください。また、工夫した点、問題点に対する対応方法を併せてご教示ください。

記入にあたり、参考となる図表がある場合には添付ください。

工夫した点

住民参加型の訓練を実施することで、防災を身近に感じてもらうことができ、子どもたちも楽しんで参加してくれていた。

市民が防災に興味を持つことで、市の防災力向上を図ることができた。

防災関係機関との相互連携を図ることができ、職員から見ても実践的な訓練となった。

令和4年度は、7月の開催で熱中症対策を施した中での開催であったが、開催日を10月に変更するなど、市民・職員アンケートを実施での結果を基に改善点を反映した形で実施した。

最後に市民、職員アンケートを実施し、訓練の評価をしていただいた。

設問③ 取組の実施に要した期間(取組着手から実施済みになるまでの期間)をご教示ください。

毎年実施

様式2 熊野川上流部の総合的な減災に係る取組方針に関する調査 回答結果  
各機関の取組み動向を踏まえた具体的な取組内容および課題・工夫点の把握

これまでの取組み動向を踏まえ、今後、取組の推進を図る上で各機関相互に情報共有することが有効な内容(予算確保、人員確保、技術的事項・ノウハウ等)に関して、課題や工夫点等を把握させていただきます。「調査対象取組項目」に該当する内容について以下の設問に記入をお願いします。

機関No	機関名	調査対象取組No	調査対象取組項目
3	野迫川村①	3	河川施設の老朽化、耐震化対策
設問①	具体的な取組内容をご教示ください。 ※取組にあたり活用した補助金制度等がある場合には併せてご教示ください。		
記入にあたり、参考となる図表がある場合には添付ください。			
<p><b>村道上垣内水ヶ峰線コイト谷2号橋橋梁補修耐震補強工事</b></p> <p>○日 時：令和5年3月27日から令和5年11月30日まで</p> <p>○参加機関：奈良県五條土木事務所 野迫川村役場建設課</p> <p>○補助金名：道路メンテナンス事業補助</p> <p>○内 容：村道上垣内水ヶ峰線は県道川津高野線と国道371号線を結ぶ道路であり、高野龍神国定公園を縦断し、緊急輸送道路にも指定されている道路である。また、北股川の上空にコイト谷2号橋があり、老朽化・耐震化対策のため工事を行った。工事延長L=31.0m 落橋防止装置工N=8基 断面修復工V=0.46m<sup>3</sup></p>			
設問②	取組を進める上で難しかった点(問題点)、課題をご教示ください。また、工夫した点、問題点に対する対応方法を併せてご教示ください。		
記入にあたり、参考となる図表がある場合には添付ください。			
<p><b>課題</b></p> <p>①役場職員で土木技術職員が不足しているため、施工時に現場条件が変更することへの対応等、度々知識不足が露呈した。</p>			
<p><b>工夫した点</b></p> <p>①「奈良モデル」事業を活用し、奈良県と協定を結び、職員不足などにより村が行うべき事務を十分に実施できない場合に村職員が奈良県へ派遣され、技術支援などの協力支援を受け積算・施工管理などを行った。</p>			
設問③	取組の実施に要した期間(取組着手から実施済みになるまでの期間)をご教示ください。		
令和4年度開始時に立案→実施			

様式2 熊野川上流部の総合的な減災に係る取組方針に関する調査 回答結果  
各機関の取組み動向を踏まえた具体的な取組内容および課題・工夫点の把握

これまでの取組み動向を踏まえ、今後、取組の推進を図る上で各機関相互に情報共有することが有効な内容(予算確保、人員確保、技術的事項・ノウハウ等)に関して、課題や工夫点等を把握させていただきます。「調査対象取組項目」に該当する内容について以下の設問に記入をお願いします。

機関No	機関名	調査対象 取組No	調査対象 取組項目	水防団等との情報伝達訓練の実施
3	野迫川村①	40		

設問① 具体的な取組内容をご教示ください。  
※取組にあたり活用した補助金制度等がある場合には併せてご教示ください。

記入にあたり、参考となる図表がある場合には添付ください。

### 野迫川村消防団及び奈良県広域消防組合の情報伝達訓練及び消防放水訓練

○日 時: ①令和5年7月19日 ②令和5年11月28日

○参加機関: ①野迫川村役場内消防団 奈良県広域消防組合野迫川分署 荒神社

②野迫川村役場内消防団 奈良県広域消防組合野迫川分署 野迫川村今井地区の住民の方々

①荒神社での訓練の様子

②今井地区での訓練の様子



設問② 取組を進める上で難しかった点(問題点)、課題をご教示ください。また、工夫した点、問題点に対する対応方法を併せてご教示ください。

記入にあたり、参考となる図表がある場合には添付ください。

#### 課題

①役場消防団の使用する簡易無線機と広域消防組合の使用する簡易無線機の種類が異なるため、情報伝達が速やかにできない場面があった。

#### 工夫した点

①役場消防団と広域消防組合との情報伝達および消防放水訓練が主な目的であったが、神社(荒神社)関係者や村内地区の方々とも連携して訓練を行うことで、消防知識の普及啓発も兼ねて実施することができた。

設問③ 取組の実施に要した期間(取組着手から実施済みになるまでの期間)をご教示ください。

令和5年度開始時に立案→実施



様式2 熊野川上流部の総合的な減災に係る取組方針に関する調査 回答結果  
各機関の取組み動向を踏まえた具体的な取組内容および課題・工夫点の把握

これまでの取組み動向を踏まえ、今後、取組の推進を図る上で各機関相互に情報共有することが有効な内容(予算確保、人員確保、技術的事項・ノウハウ等)に関して、課題や工夫点等を把握させていただきます。「調査対象取組項目」に該当する内容について以下の設問に記入をお願いします。

機関No	機関名	調査対象取組No	調査対象取組項目
4	十津川村③	43	被災後の電気、通信機能等のライフラインの早期復旧
設問①	具体的な取組内容をご教示ください。 ※取組にあたり活用した補助金制度等がある場合には併せてご教示ください。		
記入にあたり、参考となる図表がある場合には添付ください。			
<p>■近畿総合通信局と十津川村との協同による訓練実施</p> <p>○日時:①令和4年11月24日 ②令和4年11月25日</p> <p>○参加機関:①防衛省陸上自衛隊中部方面隊第3師団 ①近畿総合通信局 ①十津川村役場                      ②近畿総合通信局 ②十津川中学校生徒 ②消防団 ②総代(自治会長)等</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ヘリコプター着陸準備の模様</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>十津川村役場職員への説明模様</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>搬送機器等の積み降ろし模様</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>消防団員や総代への操作説明模様</p> </div> </div>			
設問②	取組を進める上で難しかった点(問題点)、課題をご教示ください。また、工夫した点、問題点に対する対応方法を併せてご教示ください。		
記入にあたり、参考となる図表がある場合には添付ください。			
<p>■工夫した点</p> <p>①災害時における行政の役割を確認し、操作体験を実施した。</p> <p>②個別に操作体験訓練を実施することにより、生徒や村民の防災意識の高揚と地域防災力の向上を図った。</p>			
設問③	取組の実施に要した期間(取組着手から実施済みになるまでの期間)をご教示ください。		

様式2 熊野川上流部の総合的な減災に係る取組方針に関する調査 回答結果  
各機関の取組み動向を踏まえた具体的な取組内容および課題・工夫点の把握

これまでの取組み動向を踏まえ、今後、取組の推進を図る上で各機関相互に情報共有することが有効な内容(予算確保、人員確保、技術的事項・ノウハウ等)に関して、課題や工夫点等を把握させていただきます。「調査対象取組項目」に該当する内容について以下の設問に記入をお願いします。

機関No	機関名	調査対象 取組No	調査対象 取組項目	森林の整備・治山事業
5	下北山村①	4		
設問①	<p>具体的な取組内容をご教示ください。 ※取組にあたり活用した補助金制度等がある場合には併せてご教示ください。</p> <p>記入にあたり、参考となる図表がある場合には添付ください。 森林整備事業として特定間伐等促進計画に位置付けられる間伐、及び路網整備に対して支援を行う。 林野庁の美しい森林づくり基盤整備事業補助金を活用して交付金を交付する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			
設問②	<p>取組を進める上で難しかった点(問題点)、課題をご教示ください。また、工夫した点、問題点に対する対応方法を併せてご教示ください。</p> <p>記入にあたり、参考となる図表がある場合には添付ください。 特になし</p>			
設問③	<p>取組の実施に要した期間(取組着手から実施済みになるまでの期間)をご教示ください。</p>			
毎年実施				

## (参考)アンケート調査項目抽出整理一覧(機関別)

No	機関名	取組No	調査対象とする取組項目
1	五條市①	12	避難情報の発令に着目したタイムラインの作成・更新
1	五條市②	34	避難路・避難場所の安全対策の強化
1	五條市③	37	重要水防箇所等の水災害危険個所の情報共有と関係市村等との共同点検の実施
1	五條市④	41	関係機関が連携した実働水防訓練の実施(資材等の点検管理含む)
1	五條市⑤	50	大規模土砂災害の監視・警戒・避難の体制構築
1	五條市⑥	58	関係機関が連携した土砂災害を想定した避難訓練
2	天川村①	13	タイムラインに基づく訓練の実施
2	天川村②	30	「地域防災マップづくりワークショップ」への支援
2	天川村③	35	応急的な避難場所の確保
2	天川村④	36	民間施設を活用した避難場所・避難経路の指定及び周知、効率的な避難所運営方法の検討
2	天川村⑤	47	地域防災計画への反映
2	天川村⑥	59	土砂災害危険個所の情報共有と関係市村等との共同点検の実施
3	野迫川村①	3	河川施設の老朽化、耐震化対策
3	野迫川村②	40	水防団等との情報伝達訓練の実施
4	十津川村①	22	広域避難に向けた調整
4	十津川村②	30	「地域防災マップづくりワークショップ」への支援
4	十津川村③	43	被災後の電気、通信機能等のライフラインの早期復旧
5	下北山村①	4	森林の整備・治山事業
5	下北山村②	40	水防団等との情報伝達訓練の実施
6	上北山村①	42	排水施設等の整備
6	上北山村②	57	斜面崩壊による河道閉塞に備えた体制の確保